



# 広島県コンクリート診断士会 活動報告

平成25年5月28日  
広島県コンクリート診断士会

写真は広島市で現役最古の道路橋：猿猴橋（大正15年）  
土木学会選奨土木遺産

## 会員数の推移

設立時会員数 正会員(個人) : 58名(設立時) → 74名 (H25.4現在)  
賛助会員(法人) : 17社(設立時) → 19社 (H25.4現在)

## 設立総会 平成23年7月22日

### 来賓ご挨拶

日本コンクリート工学会 佐藤立美中国支部長  
日本コンクリート診断士会 小野副会長  
中国地方整備局 川端道路保全企画官  
広島県 土木局 黒瀬企画建設部長  
広島市 道路交通局 田邊道路整備担当部長  
山口大学 社会建設工学科 宮本教授  
岡山大学 環境学研究科 綾野教授  
島根県コンクリート診断士会 井田会長

### 挨拶文紹介

京都大学 社会基盤工学専攻 宮川教授  
広島大学 建築学専攻 大久保教授  
鳥取県コンクリート診断士会 有本会長

### 記念講演

広島工業大学  
十河 教授  
「コンクリート診断士への期待」

# 平成24年度活動報告



定例サロン(研修会)を開催 (2か月置き)  
左:米倉会長、中:鈴木副会長、右;岡田代表理事

## これまでの定例サロン・講演会の開催状況

	開催日	開催テーマ	講師
第1回	H23.9.14	「県内損傷事例の追跡調査(2001～2008年)」	鈴木副会長
第2回	H23.11.9	「東日本大震災に向けて診断士のできること」	米倉会長、鈴木副会長
第3回	H24.1.11	「診断事例に学ぶ①」ひび割れ診断の事例学習	鈴木副会長
第4回	H24.3.13	「広島県コンクリートメンテナンス協会の活動及び診断士会との連携について」 「亜硝酸リチウムを使用した補修工法(NETIS登録技術)について」	広島県コンクリートメンテナンス協会 徳納会長、江良氏
第5回	H24.5.9	「生コンクリートを取り巻く各種技術基準の改定とその対応について」 「収縮低減タイプ高性能AE減水剤について」	広島地区生コンクリート共同組合 共同試験場 古井工場長 ABSFポゾリス(株) 山田 広島営業所長
第2回総会	H24.7.11	記念講演「東日本大震災から得た教訓～震災から1年経過してから」	広島工業大学 十河教授 (当会顧問)
第6回	H24.9.12	「コンクリート構造物の電気防食工法について」	(株)ナカポーテック 田中一弘氏
第7回	H24.11.14	「新しい鉄筋探査技術」 「コンクリート調査における最近の計測技術について」	日本ヒルティ(株) 田中技師 (株) 計測リサーチコンサルタント 梅本技師
第8回	H25.1.16	座談会「中国地方のコンクリート構造物補修技術の課題と展望」フォロー	中国地方整備局 川端道路保全企画官 米倉会長、鈴木副会長、江良氏
第9回	H24.4.10	「写真で見る歴史的橋梁とコンクリート技術」	鈴木副会長

## 現場研修会を実施



「ASR・塩害の複合劣化の現地調査見学及び診断検討会」

広島県東部港湾荷役施設 平成24年4月26日

# 座談会を開催（平成24年）

## 「中国地方のコンクリート構造物維持管理の現状と課題」

- 中建日報 平成24年1月1日号掲載
- 出席者 中国地方整備局 川端道路保全企画官  
米倉会長、鈴木副会長、徳納事務局長

〈発注者代表〉 中国地方整備局道路部道路保全企画官 川 端 誠	〈学識者代表〉 広島大学名誉教授 広島県コンクリート診断士会 会長 米 倉 匡州夫	〈施工者代表〉 コンクリートメンテナンス協会 会長 徳 納 武 使	〈進行役・設計者代表〉 広島県コンクリート診断士会副会長 鈴木智郎
---------------------------------------	--	---	---

※ 順不同（敬称略）

(第三種郵便物認可)

中 建 日 報

2012年(平成24年)1月1日(日曜日)

(12)

# 構造物維持管理の現状と課題



米 倉 氏

川 端 氏

## 技術者育成しレベル 新しい技術導入し口

橋梁から高架橋(以下、高架橋)にかけて大いに普及し、我々の生活や経済活動を支えているコンクリート構造物は、今後さらに拡大していき、その維持管理も重要な課題となっている。その中で、コンクリート構造物の維持管理の現状と課題について、中国地方整備局と、米倉会長、鈴木副会長、徳納事務局長らによる座談会が、12月14日(金)に広島県庁で行われた。

座談会には、中国地方整備局道路部道路保全企画官の川端誠、米倉会長、鈴木副会長、徳納事務局長らが参加し、コンクリート構造物の維持管理の現状と課題について話し合った。川端氏は、中国地方整備局では、コンクリート構造物の維持管理を、道路部道路保全企画官として担当している。米倉会長は、コンクリート構造物の維持管理は、コンクリートの劣化や損傷を早期に発見し、適切な補修を行うことが重要である。鈴木副会長は、コンクリート構造物の維持管理には、最新の技術や材料の導入が必要である。徳納事務局長は、コンクリート構造物の維持管理には、人材の育成が重要である。座談会では、コンクリート構造物の維持管理の現状と課題について話し合った。川端氏は、中国地方整備局では、コンクリート構造物の維持管理を、道路部道路保全企画官として担当している。米倉会長は、コンクリート構造物の維持管理は、コンクリートの劣化や損傷を早期に発見し、適切な補修を行うことが重要である。鈴木副会長は、コンクリート構造物の維持管理には、最新の技術や材料の導入が必要である。徳納事務局長は、コンクリート構造物の維持管理には、人材の育成が重要である。



- 20年後には橋梁の6割が老朽化  
「見ない」「見過ごし」「先送り」解決
- 高度成長期の構造物に危機感  
密実なコンクリートで長寿命化
- 入札条件に診断士資格など  
亜硝酸リチウム圧入工法全国に
- 現場の声聞き設計に活用を  
診断士会設立若手育成に力



# 平成25年度活動計画

- ①第3回通常総会(6月28日予定)
- ②技術研修会(サロン)5回(隔月予定)
- ③講演会1回(第3回通常総会時予定)
- ④診断士普及講習会:講師派遣  
コンクリート構造物の維持管理講習会  
広島県測量設計業協会主催 (5月28日予定)
- ⑤現場研修会1回(6月頃予定)
- ⑥役員会 (隔月6回サロン開催日に予定)



写真は防波堤として現在も機能している  
コンクリート船:武智丸 (昭和19年)  
広島県呉市安浦町

広島においでの際はぜひご覧ください。